

すこやか11月号

第 200 号
月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA



特集
FEATURE

最新鋭循環器系血管造影装置を導入



循環器内科部長・
心臓センター長

吉川 糧平

- 日本心血管インターベンション治療学会専門医
- 日本心血管インターベンション治療学会指導医
- 日本心血管インターベンション治療学会代議員
- 日本慢性完全閉塞インターベンション専門家会議認定術者

当院ではこの度、最新の循環器系X線血管造影装置 Azurion7 C12 を導入(更新)しました(写真)。西日本では初の導入となるこの装置は、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患の血管造影や血管内治療を、安全かつ迅速に行うための様々な最新の機能を搭載しており、当院心臓センターの柱となる最新鋭装置です。

本装置の特徴

①適正な治療を支援する最新システム

次世代の画像処理テクノロジーを装備し、画質と画像操作性が向上し、疾患部を正確に診断できるため、適正な治療を計画することが可能となります。

治療時には、血管の狭くなった部分に、バルーンと呼ばれる風船が装着されたカテーテルを挿入して押し広げ、ステントと呼ばれる金属製の治療器具を留置し、その広がった状態を保持します。本装置では、バルーンやステントの位置を正確に把握できる世界初のナビゲーション技術や、リアルタイムにステントの

状態を診断する機能などが搭載され、安全かつ効果的に患者さんへの負担の少ない治療を行うことができます。

②X線被ばく低減

最高品質のX線管により、低線量での高品質画像が実現。また、X線を出さずにポジショニングが可能になり、X線被ばく量が低減されます。

③検査・治療時間の大幅な短縮

操作する医師や技師の手元から直接、全ての作業と情報の操作、アクセスが可能になり、従来交互に行っていた検査室での患部透視・撮影と操作室での画像操作・解析を並行して実施できるため、検査・治療にかかる時間が大幅に短縮されます。

より一層安全で安心な検査・治療の提供

この度の最新装置導入により、狭心症・心筋梗塞で治療が必要とされる患者さんに優れた高度医療を提供し、より一層安全で安心な検査・治療を受けていただけることを確信しています。



写真 最新鋭の循環器系血管造影装置
(当院血管造影室)

近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう!



田場医院 田場 隆介 院長

当院は、赤ちゃんからご高齢の方まで、生活の質をより高めることができるよう、地域の問題解決を心がけて医療を行っております。小児科・形成外科を核に、こどもたちの発達をサポートする児童発達支援事業「ぞうさんの足音」や、働く育児世代をサポートする三田市病児・病後児保育事業「さんだワラビーズ」も展開しています。

形成外科では、お子様の急なけがや やけどの診療や、受診が困難な方の褥瘡(床ずれ)など、在宅医療に関連した皮膚疾患の往診も行っています。

現在は、医院の建て替えに伴い、えるむプラザ2階で診療を行っています。

何かございましたら、お気軽にご相談ください。



形成外科診療科目: できもの(粉瘤などの皮下腫瘍やほくろ、あざなどの皮膚腫瘍)、腫れ物、けがや やけど、治りにくいきず、褥瘡、きずあと、たこや魚の目・巻き爪など足のケア 等

〒669-1322 三田市すずかけ台2-3-1 えるむプラザ2F

電話 079-565-2525

HP <http://www.taba-shonika.jp/>

(「三田市 田場医院」で検索してください)

診察科目 小児科、形成外科、在宅医療

休診日 日曜・祝日、水・土曜日の午後、

(形成外科のみ木曜日の午後休診)

診療時間 午前 9:00~12:00 午後 5:00~6:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	×	△	○	×

△印は形成外科は休診日となっております。



新任医師紹介

Introduction of new physician

当院では9・10月より新しく医師を迎えました。より一層日々の診療に力を入れてまいります。



皮膚科

医師 ^{たけうち} 竹内 ^{ちひろ} 千尋

出身地 兵庫県

趣味 旅行

9月から皮膚科に赴任しました竹内と申します。皮膚科医として、皆様によりよい医療を提供できるよう頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。



整形外科

医師 ^{くすのせ} 楠瀬 ^{まさや} 正哉

出身地 高知県

趣味 旅行、体を動かすこと

10月より整形外科に赴任しました楠瀬と申します。地域の皆様のお役に立てるよう、一生懸命頑張りますので、ぜひご相談ください。

編集後記

朝晩の寒さが厳しくなってきました。それに伴って、食卓に鍋が並ぶことが多くなってきました。よせ鍋、キムチ鍋、豆乳鍋など、ひと口に鍋と言っても意外にバリエーションが豊富です。温かい食事でご体管理し、手洗い、うがいで感染症を防ぎましょう!

すこやか(第200号)
平成29年11月発行

【編集・発行】
三田市民病院
学術広報推進委員会



三田市民病院

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000 (代表)
<http://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>